

平成25年度中完成予定施設

施設名		施設の概要	完成年月	担当部
コミュニティ施設	西町まちづくりセンター・地区会館(改築)	(西区)西町南9丁目 2階建 延べ450㎡	25年12月	地域振興部
	苗穂東まちづくりセンター・苗穂記念館(改築)	(東区)苗穂町3丁目 2階建 延べ253㎡	25年12月	
	厚別中央まちづくりセンター・厚別会館(改築補助)	(厚別区)厚別中央4条3丁目 平家建 493㎡	25年12月	
	厚別西地区センター(改修)	(厚別区)厚別西4条4丁目 2階建 延べ1,346.57㎡	26年2月	
社会福祉施設	広域型特別養護老人ホーム(新築補助)「厚別園」	(厚別区)厚別東5条3丁目 定員80人	25年6月	高齢保健福祉部
	広域型特別養護老人ホーム(新築補助)「ら・せれな」	(北区)百合が原3丁目 定員80人	25年5月	
	広域型特別養護老人ホーム(新築補助)「ひかりの」	(東区)東雁来12条4丁目 定員80人	25年5月	
	(仮称)札幌市障がい児(者)医療・福祉複合施設(改修)	(豊平区)平岸4条17丁目 5階建 新增築、改修面積 8,500㎡	26年3月	障がい保健福祉部
	私立保育所(新築補助)	未定 定員60人 2カ所 乳幼児併設	26年3月	子育て支援部
	私立保育所(新築補助)	未定 定員90人 6カ所 乳幼児併設	26年3月	
	私立保育所(私立認定保育所整備補助)	未定 定員30人 4カ所 0～2歳児限定	26年3月	
	私立保育所(私立認定保育所整備補助)	未定 定員60人 2カ所 0～2歳児限定又は乳幼児併設	26年3月	
	私立保育所(新築補助) (仮称)札幌北保育園	(東区)東雁来10条4丁目 定員90人 乳幼児併設	25年12月	
	私立保育所(増改築補助) 山鼻保育園	(中央区)南12条西8丁目 定員90人(30人増) 乳幼児併設	25年12月	
	私立保育所(増改築補助) 屯田保育園	(北区)屯田5条6丁目 定員120人(30人増) 乳幼児併設	25年12月	
	私立保育所(増改築補助) 八軒星の子保育園	(西区)八軒4条西5丁目 定員120人(30人増) 乳幼児併設	25年12月	
	私立保育所(増改築補助) 山鼻華園保育園	(中央区)南18条西11丁目 定員150人(30人増) 乳幼児併設	25年12月	
私立保育所(増改築補助) 札幌愛隣館保育園	(豊平区)豊平4条3丁目 定員150人(30人増) 乳幼児併設	25年12月		
私立保育所(増改築補助) まこまないみどりまち保育園	(南区)真駒内緑町3丁目 定員150人(30人増) 乳幼児併設	25年12月		
公園	(仮称)東雁来1号公園(新設)	(東区)東雁来7条2丁目 街区公園 0.25ha	26年3月	みどりの推進部
	茨戸川緑地(新設)	(北区)篠路町拓北298-1ほか 都市緑地 41.6ha ※25年1定補正に前倒し	26年3月	
	あいの里・福移の森緑地(新設)	(北区)篠路町福移154-1ほか 都市緑地 19.6ha ※25年1定補正に前倒し	26年3月	

施 設 名		施 設 の 概 要	完成年月	担 当 部
住 市 宅 営	下野幌団地(建替)	(厚別区)厚別中央1条5丁目 1棟14階建 154戸 延べ14,047㎡	25年10月	市 街 地 整 備 部
	北白石小学校:プール(改築)	(白石区)北郷6条3丁目 平家建 506㎡	25年9月	
教 育 施 設	南郷小学校(改築)	(白石区)本郷通4丁目南 3階建 延べ6,663㎡	26年3月	生 涯 学 習 部
	東札幌小学校(改築)	(白石区)東札幌4条5丁目 校舎 4階建 延べ7,015㎡ 屋内運動場 2階建 延べ1,358㎡	26年3月	
	幌東小学校(増築)	(白石区)菊水6条3丁目 3階建 延べ887㎡ ※25年1定補正に前倒し	26年3月	
	星置東小学校(増築)	(手稲区)星置2条1丁目 3階建 延べ608㎡ ※25年1定補正に前倒し	26年3月	
	宮の森中学校:格技場(新築)	(中央区)宮の森1条16丁目 平家建 270㎡	26年2月	
	元町中学校:格技場(新築)	(東区)北28条東20丁目 平家建 263㎡	26年2月	
	福井野中学校:格技場(新築)	(西区)福井6丁目 平家建 270㎡	26年2月	
	陵北中学校:格技場(新築)	(西区)二十四軒2条3丁目 平家建 263㎡	26年2月	
	新川西中学校:格技場(新築)	(北区)新川4条15丁目 平家建 260㎡	26年2月	
	水 道	緊急貯水槽	(手稲区)星置3条5丁目(星置中学校) 容量 100㎡	
(東区)伏古14条5丁目(伏古みみずく公園) 容量 100㎡			25年12月	

将来を担う子どもたちに市政への関心をもってもらうための取組

中学生に対する取組

対象者：屯田中央・陵北中学校の3年生＝9クラス360名（H24は2クラス80名）

実施日：平成24年10月23日と26日

- 内容：① 予算の役割、本市の予算編成手法や取組事業、財政状況、課題等を説明
 ② 以下の内容についてグループ討議を実施
- ア 学校予算で充実させるべきもの、縮減したほうがいいものを検討
 - イ 自分が市長になったら、札幌市の予算で充実させるべきものを検討
 - ウ 税金等歳入を増やすためにはどのような取り組みが有効かを検討
- ③ グループ討議結果を発表



《討議結果》

- ア-1 学校予算充実：耐震補強、クーラー設置、グラウンドに照明、理科備品
- ア-2 学校予算縮減：光熱水(LED化)、印刷物の減、職員給与
- イ 本市予算充実：防犯・災害対策、除雪、スポーツ施設設置、街路灯増
- ウ 歳入増：観光振興、祝日増、たばこ税増税、子どもを増やす、経済活性化、イベント増、レジャー施設設置、高齢者活用

高校生に対する取組

対象者：市立高等学校（藻岩・開成・新川・旭丘・平岸・清田）の1・2年生の希望者＝48名

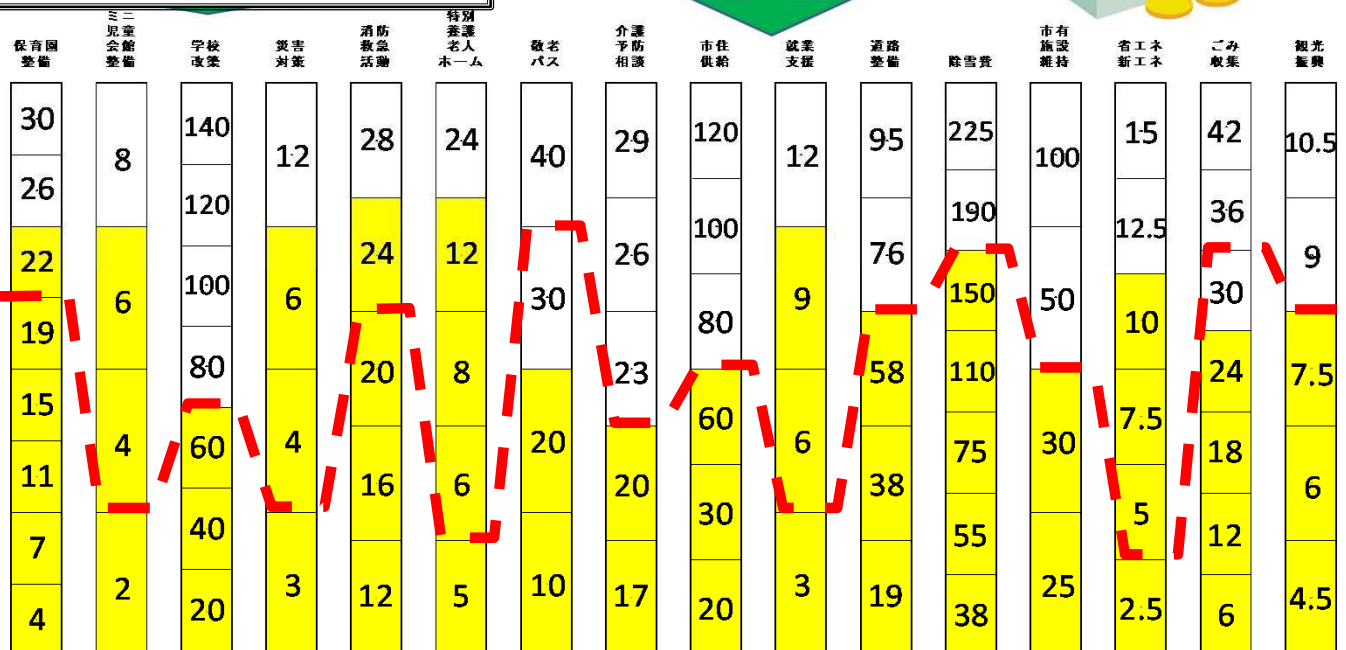
日時：平成24年8月29日（水）と9月19日（水）の9：00～17：00まで

- 内容：① 予算の役割、本市の予算編成手法や財政状況、課題等を説明
 ② 子どもたちにとって身近な行政サービス16事業の現状と諸課題を説明
 ③ グループに分かれて理想のまちづくりのテーマや重点的に取り組む課題を決定
 ④ 市長になったつもりで理想のまちづくり実現に向け500億円の予算を16事業へ配分
 ⑤ 予算配分結果とその考え方を発表

各グループ討議の中でまとめられた、予算配分の結果を平均化すると、以下の結果となり、本市の実際の予算額に比べて、災害対策や高齢弱者支援、子育て支援、就労支援、環境対策に関するニーズが高かった。

活用可能財源： 500 億円

【凡例】
 網かけ
 =高校生平均
 太破線
 =本市H24



市民の皆様からのご意見と札幌市の考え方

本年度の各局の予算要求の概要を11月27日から公表し、12月26日までの間、市民の皆様からのご意見を募集しました。

公表にあたっては、今年度より新たに高校生への体験学習（予算編成シミュレーション）を実施したこともあり、多くのご意見をいただくことができました。

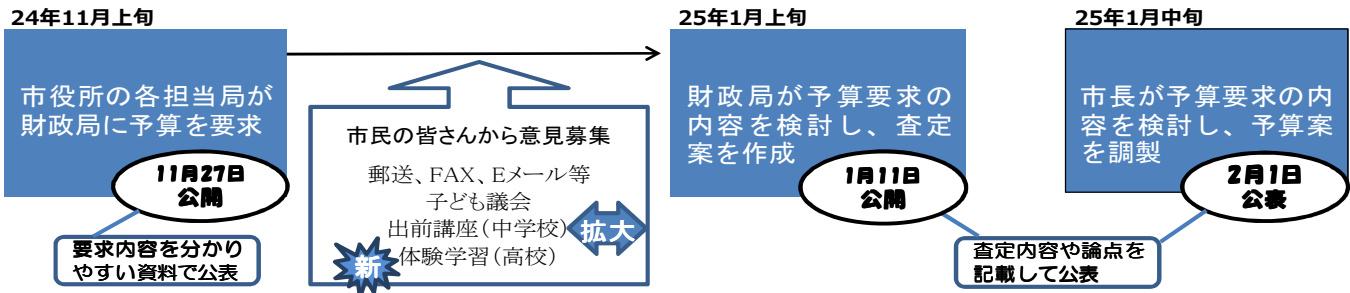
お寄せいただいたご意見のうち、主なものとそれに対する札幌市の考え方について、以下のとおり公表いたします。

全てのご意見とそれに対する考え方については、財政部のホームページにて公表させていただきます。

「札幌市の財政」URL : <http://www.city.sapporo.jp/zaisei/kohyo>

・意見の項目	120項目
・意見提出者	199人
・意見の提出方法	
文書	196人
FAX	2人
電子メール	1人

【スケジュール】



これからも、よりよい札幌市の予算（お金の使い方）を市民の皆さまとともに考えていくため、たくさんのご意見をお寄せいただきますようお願いいたします。

担当局	意見の要旨	札幌市の考え方
危機管理対策室	災害に備え、避難場所を増やしたり、備蓄物資が被災者に行き渡るようにするなど、災害対策を充実するべき（他3件）。	避難場所の整備方針や応急救援備蓄物資の配置のあり方などを加えた「札幌市避難場所基本計画」を今年度中に策定することとし、今後も各種災害対策の充実に力を入れてまいります。
市長政策室	新規事業が多数見受けられるが、もっと見直しが必要ではないか。	新規事業を含めた市の各種事業の実施にあたっては、既存事業の見直しを行いながら、将来的なまちづくりの計画等に基づき、重点的・優先的に取り組むべき事業から実施してまいります。
総務局	ミュンヘンクリスマス市は降雪量の多い札幌らしい事業なので推進すべき。	運営体制のさらなる効率化を図りながら、今後も多くの市民や観光客に来場し、楽しんでいただけるよう、札幌駅・大通周辺地域との連携を一層強化して事業内容の充実を図ってまいります。
市民まちづくり局	自転車マナー向上のために、規制制度を作るなど、予算を拡大するべき（他2件）。	平成25年度は4,000千円を通常の啓発予算とは別に計上し、「自転車押し歩きの社会実験」等を行う予定です。規制制度については今後、ルール・マナーの浸透度合いなどを見据えた上で対応を検討してまいります。
	旧真駒内緑小の跡施設活用のように、他の廃校となる学校施設も再利用すべき。	閉校となった学校の跡活用については、地域の実情に応じて具体的な方策が異なると考えております。そのため、地域の皆さんの意見も踏まえながら、検討してまいります。
	路面電車の距離を伸ばすなど、延伸事業は推進すべき（他8件）。	現在、平成27年春の「路線のループ化」に向けた具体的な取組を進めるとともに、札幌駅方面、桑園地域、創成川以東地域への延伸について検討しております。
	JRやバス、地下鉄など他の公共交通機関があるので、路面電車の延伸は再考すべき（他5件）。	路面電車は、人や環境にやさしいだけでなく、まちに賑わいをもたらす公共交通機関であるため、札幌市では、利便性向上のほか、まちづくりへの活用も見据えたうえで路線の延伸を検討しております。
保健福祉局	保健福祉に関する総合・横断的な相談窓口の開設事業や福祉のまち推進センター事業、地域医療連携推進事業を推進するなどして、高齢者や障がい者の相談支援、生活支援を充実するべき（他9件）。	地域で支援を必要とする方々を適切に把握・支援できる体制を整えるとともに、保健・福祉・医療の専門機関のネットワークを強化するため、ご指摘いただいた各種の取組を効果的に組み合わせ、推進していきたいと考えております。
	障がい者相談支援事業、知的障がい者見守り事業、障がい者就労支援促進事業を一本化するなどして、障がい者及び知的障がい者の孤立化を防ぐ環境をつくるべき（他3件）。	障がいのある方が地域で安心して暮らしていくためには、相談支援をはじめとする障がい福祉サービスの充実や就労支援の取組が重要であり、これらの事業は関係機関が連携し一体的に推進していく必要があると考えております。

担当局	意見の要旨	札幌市の考え方
子ども未来局	ミニ児童会館の整備促進や放課後児童クラブの充実が推進すべき（他12件）。	今後も、ミニ児童会館の新設や放課後児童クラブの充実により、安心して働きながら子育てできる環境づくりに努めてまいります。
	ミニ児童会館整備にあたり、既存教室をそのまま活用したり、2校で一つの会館とするなど、事業費を縮小すべき（他4件）。	児童の安全面や利便性の点から、すべての小学校区に放課後の居場所をつくる必要があると考えておりますが、整備にあたっては、設備の再利用等により経費の縮減に努めてまいります。
	旧真駒内緑小の再利用を推進するとともに、子どもの体験活動の場は中高生も利用できるようにしたい（他3件）。	旧真駒内緑小の暫定活用における子どもの体験活動の場については、幅広い年代の子どもに対し、自主的な体験機会を提供することができるよう、事業を進めてまいります。
	待機児童解消に向けて保育所整備は推進すべき（他7件）。	急増する保育需要に対応するため、第3次札幌新まちづくり計画において、平成23年度から26年度までの4年間で認可保育所定員4,000人増を図ることとしており、今後も積極的に保育所整備を進め、待機児童の解消を目指します。
環境局	原発に代わる発電手法（太陽光発電等）を確保・開発に努めるとともに、太陽光発電に係る事業や市民の節電意識向上に係る予算をもっと拡大すべき（他7件）。	原発に依存しない社会の実現に向けて、再生可能エネルギーの普及や省エネルギーの推進を図るべく、今後も効果的な事業を実施してまいります。
	LED推進キャンペーンは、SAPICA以外の商品券等の交付、LED電球を安価に販売できるよう企業への支援、個人への補助だけでなく学校や病院等への導入促進の検討など、有効な取組みとなるよう検討すべき（他3件）。	SAPICAは6月より市内のバス、市電で利用可能となり、また、SAPICA加盟店での買い物にも利用できます。企業への支援については、札幌市だけでなく、道、国との連携が必要と考えます。公共施設にはLEDの導入を随時行っております。
経済局	高校・大学の新卒者に対して就労相談所や企業と学生の交流の場を設けるなど就労支援を拡大して欲しい（他1件）。	高校や大学の新卒未就職者に対して、研修や職場実習により早期就職を支援する事業を引き続き実施することとしております。今後も新卒者への就労支援に積極的に取り組んでまいります。
	子ども学習農園事業は、小さいうちに農業に興味を持たせることなのでとてもよい（他1件）。	子ども学習農園は26年度中に一部供用開始を予定しておりますが、効果的・効率的な事業執行に努め、より利用しやすい施設になるよう進めてまいります。
観文化光局	キタラファーストコンサート事業は小学生には時期尚早で不要と感じる。	若いうちに本物の芸術に触れることは、将来子ども達が感性豊かな人間になるためには重要であり、引き続き実施したいと考えております。
	オリンピック出場選手やプロスポーツ選手によるスポーツ体験会等を活性化させて、子どもの運動能力向上や興味促進となるような取組を推進すべき。	札幌の未来を担う子どもたちに対する取組は重要であり、「オリンピックズキャラバン事業」においてトップアスリートの活用を予定しております。またその他においても、さまざまな機会をとらえて取り組んでいきたいと考えております。
建設局	駐輪場を増やして欲しい（他10件）。	駐輪場の確保については様々な課題もあることから、今年度広報さっぽろ8月号等の誌面において、特に都心部の状況を示し、市民の皆様から様々な駐輪場整備の意見等を頂きました。今後も頂いたご意見を参考に、引き続き駐輪場の確保を進めてまいりたいと考えております。
	冬みちプランなどのソフト事業や、道路工事などに係る費用を縮小し、その財源を除雪費やロードヒーティング設置費に充てるべき（他3件）。	雪対策におけるソフト事業は、冬の市民生活ルールの遵守・マナー向上に向けた意識啓発や、地域との情報共有と連携の推進を図るため実施しております。また道路整備については、コストの縮減、事業の重点化、優先化を図りながら、真に必要な「道づくり」を効率的・効果的に実施しております。
都市局	再開発で新しい物を作らずに、既存施設を修繕して活用すべき。	本市の既成市街地には、老朽家屋の密集など様々な課題がある地域もあります。このような防災上の課題などに対処するため、マスタープランである「都市再開発方針」に基づいて、計画的に再開発を推進しております。
	市内建築物について耐震性能をチェックし、耐震性能が不足している建物は民間建築物補助などにより、補強を推進すべき（他1件）。	過去の地震では、昭和56年5月以前に建てられた建築物が大きな被害を受けたことから、札幌市では、建築物の耐震診断や改修工事の費用助成のほか、耐震化についての普及啓発に取り組んでおります。
教委 育会	外国語指導助手を増やして、子どもと外国人が触れ合う機会を増やすべき（他2件）。	教育委員会では、児童生徒のコミュニケーション能力の育成等を図るため、今後も計画的に外国語指導助手の増員を進めてまいりたいと考えております。
	学校耐震化を推進すべき（他10件）。	児童生徒の安全や避難所機能確保のため、耐震化は必要であると考えており、改築を行う学校及び耐震基準を満たしている学校を除く全校の耐震化を平成26年度までに実施することとしております。
	学校耐震化に係る費用は高額すぎるので必要などころに最小限にとどめるべき。	
	読書チャレンジ事業を拡充して各校の蔵書数を増やすなどして欲しい。	これまでも図書購入のための予算を各学校へ配分するなどして、蔵書の整備に努めております。限られた予算の中ではありますが、引き続き蔵書の充実に向け努力いたします。

【用語説明】

要求額：11月上旬に各局から財政局に提出された予算要求額（一部要求の追加等があった事業があります。）

財政局査定額：要求内容を吟味し、財政局として予算計上すべきと判断した金額

最終査定額：市長・副市長による最終判断を経て予算計上する金額

査定の考え方：予算計上する金額を要求から変更する場合の考え方

（かっこ内は要求と査定額の差）

一般財源：使途に指定がない収入（財源）

（⇔特定財源：国からの補助金など使途の指定がある収入）

平成25年度

市政等資料番号 01-D01-12-1512

広報印刷物番号 24-1-70

関係部局保存期間 1 年

予算の概要

平成25年（2013年）2月1日発行

編集・発行 札幌市財政局財政部

〒060-8611 札幌市中央区北1条西2丁目

TEL 011(211)2212 FAX 011(218)5147

ホームページ <http://www.city.sapporo.jp/zaisei/kohyo/>



さっぽろ市

01-D01-12-1512

24-1-70